



〒780-8014 高知市塩屋崎町1丁目1-10 TEL(088)833-4394 FAX(088)833-7373 <http://www.tosaobog.com>



理事長就任のご挨拶

学校法人 土佐高等学校
理事長 傍士 銑太(49回生)

昨年12月、池上武雄先輩から理事長を引き継ぎました傍士銑太(49回生)です。誇り高き歴史と伝統の重い責務を担うこととなりました。引き続き地域に愛され笑顔あふれる学校づくりに、教職員や同窓生皆様の支えを賜りながら取り組んで参ります。

これから少子高齢化や人口減少が本格化する中で、全国的に若者は「憧憬」の念強く、依然として東京一極集中が続くなど、地域の学校が置かれた環境には厳しい現実があります。

とはいえ、こうした時代の変化に対して、土佐校には常に多様性に拓かれた強い希望があります。小さくても弱くても、それらをリスベクトできる学習環境の下、ジョン万次郎や牧野富太郎など幾多の郷土の先人たちのように、未知の世界への冒険心と絶えない探究心を養い、土佐校で学ぶ尊い価値を世界中に高め広めることが可能です。

今では日常化された中学「合唱コンクール」が誕生したように、自分たちの手で何かづくりあげていきたいという志を表現する強い個人がこれから先も育つ時、きっと新しい分権社会の夜明けが土佐から見えるでしょう。これまで長く繰り返されてきた若者の「憧憬」と「郷愁」のサイクルも短くできます。

来年、創立百周年を迎えるにあたり、これまで2万人有余の同窓生たちと育んできた「自由」という土佐のアイデンティティを共有して明日へ明日へ明日へ。御寄付も、また力強い後押しになります。ご協力に心より感謝申し上げます。

2019 ホームカミングデー

日時 / 令和元年8月17日(土) 12:00~

講演会

筆山ホール講演会
地域愛のある風景から
“国のかたちをせんとくする”

学校法人 土佐高等学校 理事長
傍士 銑太 氏 (49回生)



“愛には形がないよ”とか言うけれど、形として見えることがたくさんあるということ、郷土や母校を愛する気持ちはあっても、それを目に見える形で表すことの大切さについて気付かされました。

Uターン相談室



特別授業

土佐高野球と私

土佐中・高等学校教諭
楠目 博之 先生(51回生)



ホームカミングデー特別授業二回目の登壇。楠目先生には土佐高野球部の輝かしい歴史と、野球部と先生との関わりについて熱く語っていただきました。甲子園で校歌を歌いたいぞ!

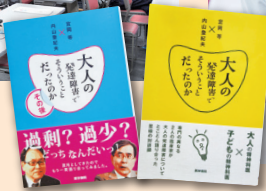


大人の発達障害って そういうことだったのか ～自分のために、仲間のために 知っておきたいこと～



北里大学東病院長
宮岡 等 氏 (49回生)

筆山ホールがいっぱいになるほどの参加者に大人の発達障害に対する関心の高さが伺えました。多様化する社会、複雑な人間関係、みんなが暮らしやすい社会となるよう互いに理解を深めることの大切さを学びました。



私たちはなぜいま 本屋を始めるのか

フリーランス書店員
久禮 亮太 氏 (69回生)

縮小する出版市場で、敢えてフリーランス書店員になるという興味深い背景について、楽しく、わかりやすくお話いただきました。



土佐校体操



西内 一人先生 (59回生) と 89回生のみなさん
(写真中央)

演奏会

「Bed Sounds」ライブ



高知街ラ・ラ・ラ音楽祭の常連、土佐高OBによるポップスコラスバンド。爽やかな歌声に食堂に西海岸の風が吹いていました。



三木先生、掛水先生と新卒生(94回生)の皆さん

2019年度 土佐中・高等学校同窓会



2019ホームカミングデーを企画運営した「9の会」の皆さん

令和元年ホームカミングデー開催

「9の会」実行委員長 橋本 雅彦 (49回生)

私達49回生が、母校の施設設備をお借りして、卒業30周年の記念同窓会を催した2004年8月、時を同じくして、学校・同窓会をあげた記念行事「ホームカミングデー」が始まりました。

その後、この催しが内容も充実し、今日の興隆を見ていることは、各回生ほか関係の皆様のご不断の努力の賜物と存じます。

本年、2019年は、西暦の末尾「9」の付く卒業回生が「9の会」を組織することになり、幹事となりました。久しぶりに訪れた学び舎では、同期生の理事長、校長が教職員の先頭に立って、母校のために奮闘していました。

さあ、来年は、いよいよ創立100周年。扉を開けようとしている次の百年に、母校が更に輝かしい未来を紡いでいきますように。



来年のホームカミングデー 2020年8月15日(土)開催予定

発想力と実行の人、人情味溢れる

宮地貫一さん(21回生)逝く



略歴

昭和2年4月9日 高知市長浜に生まれる
 昭和26年3月 東京帝国大学法学部政治学科卒業
 昭和27年6月 文部省入省
 昭和60年7月 文部事務次官(～昭和61年6月)
 昭和62年 土佐中・高等学校同窓会関東支部支部長

平成8年12月 学校法人高知工科大学副理事長(～平成19年3月)
 平成13年 勲二等旭日重光章 受賞
 平成15年8月 土佐中・高等学校同窓会会長(～平成21年8月)
 平成18年11月 高知県功労者表彰(特別県勢功労)
 平成19年9月 学校法人土佐高等学校理事長(～平成23年3月)

2019年2月23日、ご自宅で眠るようにお亡くなりになられた、日本そして高知県の教育界の大功労者、また母校が誇る宮地貫一氏を偲ぶ会が、高知工科大学・学校法人土佐高等学校実行委員会によって、4月12日、高知サンプライズホテルで行われました。

多くの関係者に加え、ご子息の宮地力様、ご息女の馬場麻里子様ご夫妻もご出席されました。沢山の方々から宮地さんとの思い出が語られ、またご家族からご家庭での知られざる素顔のご紹介があり、出席者全員が宮地さんとの思い出に浸り、会場は泣き笑いにつつまれました。

宮地貫一先生の

お人柄を偲び…

幹事長 西山 彰一 (48回生)
 副会長 北村恵美子 (47回生)

今から20年前、2000年に土佐中・高等学校は創立80周年を迎えました。80周年の節目に、母校の創立100周年を見据え、学校のあるべき姿と活動方針を策定する1000年委員会と先生方の自由な研修を支援するTSSL

(Teacher's Study Leave Program) 委員会が編成され、私たちも参加させて頂いていただきました。TSSL委員会では、現職の教員の皆さんが日常の授業から離れ、留学などを含む研修プログラムを組み立てるために宮地先生が座長となり、母校のすべてのクラスの主任、副主任と3日間かけてヒアリングを行いました。そして、教員の皆さんの要望、制約事項を理解、解決し、学校・振興会・同窓会が各1000万円、合計3000万円の基金を創設し、現在も継続、実施されております。

また、宮地先生は2003年に同窓会会長になられた際には、「もつと若い同窓生が参加できる総会にしなきゃならん！」と母校の施設をお借りしてのホームカミングデー開催を提唱されました。これもまた、毎年8月、教職員の方々のご協力の元、継続して15年になります。その実施にあたり、その年の実行委員会が組織され、20歳代から60歳代の同窓生による、世代を超えた会議を経て、8月の本番を迎えます。毎年3000人を越える同窓生が母校を訪ね、記念講演や企画事業を通じて同窓会の活性化に大きく貢献しております。

そして、宮地先生を語る際に忘れてはならないのは、2005年の寄附行為(企業の定款に相当)の改正です。宮地先生は寄附行為検討委員会の座長を務められ、学校・振興会・同窓会の皆さんが様々な形でご尽力されまし

た。そしてご家族含め人格者である故川崎幾三郎第九代理事長の見識の深さ、高い視点での迅速な英断によってこの改正は成し遂げられました。

さらに2010年には母校創立90周年を迎え、現在の免震構造の校舎、耐震構造の体育館、新しい向陽グラウンドの整備も実現いたしました。これもまた宮地先生のご尽力の賜です。

今振り返ってみますと、20年前の母校創立80周年、10年前の90周年、そして今日の同窓会の歩みと、宮地先生の母校への思いと志は、継続的な母校の教育振興の支援募金制度「新世紀募金」として足跡を残す事が出来ております。

宮地先生は2003年から2009年までの6年間同窓会会長、2007年から2011年まで学校法人土佐高等学校理事長をお務めになられました。ここにご紹介いたしました数々の事業は、私たちが宮地先生のお仕事の一部において一緒にさせていただいて過ぎませんが、大切な局面においての、宮地先生の心温まる力強いお言葉は、今も私たち同窓生の心の中に生き続けております。

宮地先生は本当に「気さく」で「厳しくも情に厚く」「豪快でいられ(土佐弁)」、そして「お酒が大好きなお洒落な紳士」でした。いつも私たちは宮地先生の愛情を感じておりました。宮地先生なくして現在の土佐校はないと言っても過言ではございません。



2010ホームカミングデー懇親会にて



2007.9.26 新校舎起工式にて

宮地先生の熱い熱い郷土愛・土佐校愛に深甚なる敬意と感謝の気持ちを表すとともに、今後も微力ながら土佐校の発展に寄与することをお約束いたします。

高知新聞「閑人調」より

元文部事務次官で、高知工科大の生みの親とされる故宮地貫一さんを偲ぶ会が先夜、高知市で開かれた。

世話になり、指導を受けたという皆さんが集まり、思い出を語った。宮地さんの類いまれなエネルギーのもとになっていたのが、土佐弁でいう「いられ」だったというのが面白い。「何をもたもたしよる。日が暮れるぞ」と叱り飛ばされた人も数え切れないように、即断即決、走りながら考える生きざまだったと言われている。

一方で酒席を大事にし、会議の後には必ず宴会になった。にこやかに歓談する中で、昼間叱責したメンバーをさりげなくケアする。

酒だけではない。カラオケ、マージャンにゴルフ。特にカラオケでは出掛けることに新曲を披露する。いつどこで、どうやって覚えるのかと驚いた人が多い。

当方は土佐高校理事会などで10年ばかりお付き合ひ願っただけが、実績、実力がそうさせる温厚篤実のお人柄で、そばに居ても安心感を与えられる方だった。温顔が懐かしい。

本県の教育・行政界に数々の功績を残された大恩人だが、こんな

多芸、多才の士を土佐の地が育んだことをうれしく、誇りに思う。偲ぶ会は四十九日に合わせて行われた。

合掌。(也)

宮地さん「実行の人」

関係者 県内教育振興に感謝



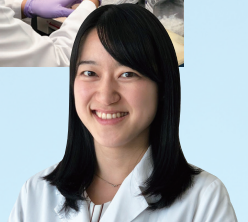
「間違いない高知上 務めた宮地貫一さん。科大の生みの親の一人は、県内の教育振興に人々実行がある人だ」と深く関わってきた宮地さん。元文部事務次官で、副知事に就任した宮地さん。元文部事務次官で、副知事に就任した宮地さん。元文部事務次官で、副知事に就任した宮地さん。

2019年(平成31年)2月27日



日本人で唯一の受賞

高村 理沙 (86 回生)



所属
早稲田大学大学院先進理工学研究科
生命医科学専攻分子脳科学研究
博士後期課程 2 年
理化学研究所脳神経科学研究センター
神経老化制御研究チーム JRA
京都大学大学院医学研究科システム
神経薬理学部門 特別研究学生

将来に向けて

海外での発表は緊張しましたが、発表後には多くの質問を受け、世界中の研究者に自ら研究を紹介できた喜びを感じました。アルツハイマー病の根本的治療法はまだ確立しておらず、予防薬や治療薬の開発など課題は山積みです。今回の受賞を励みに、今後も夢に一歩ずつ近付いていけるような選択をしていきたいです。

最後になりますが、研究を支えて下さった教授、研究室メンバー、そして学びの起点となった土佐校の先生方に感謝申し上げます。今回のことが少しでも母校への恩返しになれば幸いです。

研究への興味

研究というものを意識し始めたのは学部1年次、奨学金申請の際「私の夢」を書く欄があり、「アルツハイマー病を治す研究がしたい」と書いた頃からです。私の祖母はアルツハイマー病を発症しており、記憶が失われていく様を日々目の当たりにしていたため、この病気には特別な思いがありました。言霊というのは不思議で、その後も進路の岐路に立つ度にこの夢に近づく選択を繰り返し、徐々に夢が現実味を帯びていきました。

受賞した研究内容

アルツハイマー病モデルマウスの神経細胞を観察し、記憶障害の原因となる細胞活動異常を調べ、今回の受賞に至りました。本研究の強みは、行動下のマウスの細胞活動を観察できる

ことと、マウスの同細胞群を数か月に亘り追跡できることです。これにより、空間記憶を司る場所細胞が段階的に機能不全に陥る様子を明らかにしました。神経回路破綻の可視化は、記憶障害発症前の異常を知る術となるだけでなく、薬効を細胞レベルで長期観察するツールとして意義があると考

えています。様々な薬が臨床試験段階で中止になる中、薬効を可視化するシステムは病態解明に役立つと信じています。

基礎研究はすぐに結果の出るものではありませんが、地道な結果の積み重ねがいつしか実を結び、新たな発見に繋がります。その点では、土佐高校在学時、数学の問題を頭の片隅に眠らせておき、ふとした時に考えるのが好きだった私の性に合っているのかもしれません。

社会で活躍されている多数の土

佐高校卒業生からピックアップしてご紹介するシリーズ『我ら土佐』。シリーズ2回目の今号は、土佐高校を卒業して9年目という若き86回生のお二人、高村理沙さんと小島東洋さんをご紹介します。若千27歳という若さながら、それぞれはつきりとした目標を持ち、自由な発想とたゆまぬ努力により大変な活躍をされています。将来有望な二人から今後とも目が離せませんね！

2019年3月にリスボンで開催さ

れたアルツハイマー病・パーキンソン病学会にて、Junior Faculty Awardを受賞しました。これは博士課程卒業後5年以内の若手を対象に贈られる賞で、世界で20人、日本人では唯一の受賞となりました。



舞台とテレビ

まだまだ未熟者ですが

小島 東洋 (86回生)



「半分、青い。」ロケより

所属
東洋企画 TO40 KIKAKU 代表
NHK 鹿児島放送局ディレクター

のは「みんなが右を向いているときは左を見る」ことです。つまりはひねくれ者です。

演劇でもNHKでも土佐の諸先輩方、後輩の方にお会いする機会があります。その度に、校舎の話、先生方の話になり、母校の懐の広さを思い知る昨今です。こんな勉強も運動もできないあぶれ者をよく受け入れてくれたなと思います。

決して楽しい中学・高校生活だったとは思いません。もう一回やれと言われたら断る気がします。けれどこの「寛容な」母校がぼくに「知識を積み重ね研鑽する」ことを教えてくれたからこそ、今がある。これは間違いないと思います。

これからも襟を正してがんばっていきなさいと思います。

演劇をやってみたい、そう思ったのは中学2年のときの向陽祭でした。当時生徒会などで活躍していた村田さんとこの先輩が中心にやっている芝居に、ぼくは密かに魅了されていました。

教室所狭しと集まったお客さん、その中で演じる先輩、後輩、同級生の眩しい姿は今も目に焼き付いています。焼けて溶けて貼り付いています。

そうして大学生になって、大阪大学で演劇サークルを選んでしまったのが運の尽き。自分で「東洋企画」なる劇団を恥ずかしげもなく立ち上げ、劇作家・演出家・俳優を名乗りながら現在に至っています。(大学の授業中は常に台本を書いています…)

そんなぼくは今、NHK 鹿児島放送局でディレクターとして働きつつ、週末を中心に演劇を続ける、舞台とテレビの二足の草鞋を履いています。二

足の草鞋と書きましたがぼくにとってはその両輪のようなものです。

昨年まではNHKドラマ部に所属し、大河ドラマ『おんな城主 直虎』、朝ドラ『半分、青い。』の助監督として走り回る、文字通り勉強の日々でした(過酷でした)。鹿児島局ではドキュメンタリーに加え、のど自慢や高校野球、選挙や台風などの災害対応、なんでもやっています。

報道という立場に立っていると、しばしば「これでいいのか?」と思うような出来事に直面する時があります。鹿児島という縁もゆかりもない土地に暮らしていると地方の問題や自分の家族について「思う」ことが生まれます。

ぼくにとって演劇はそうした「思い」の発露の場所でもあります。会社では当然ながらペーパーなので、大

きな企画を担える立場ではありません。しかし、今のこの年代でしかできないことがある、この年齢だから感じることもある。ぼくのつくっているテレビと舞台は大きく違います。この「違い」を軽やかに行き来することこそが今のぼくの楽しみです。昨年は「Instagramで話題の投稿を繰り返す女の子が実は友達の投稿を真似しているだけだった」という芝居を書きました。今はより現代を風刺した芝居をつくっています。

仕事は芝居にも生きるし、芝居をする中で仕事での視野も広がっている。将来的には大河ドラマや朝ドラの演出を手がけたいと思っています。その年齢に自分がなったとき、自分なりの表現で多くの方を楽しませることができるよう、今、力を尽くしたい。

仕事でも芝居でも、大切にしている



第三回東洋企画「太陽の塔の四つ目の顔を見たことがあるか」舞台稽古より



第八回東洋企画「FASHION」より



学校近況報告

百周年を契機にさらなる発展を

学校長 小村 彰 (49回生)

☆生徒の活躍も各一行で

- ・ 九四回生現役国公立大合格最多
 - ・ 県体四二年ぶり六種目団体優勝
 - ・ 佐賀総文祭に九部門六三人出場
 - ・ 高校総体登山と陸上二百m入賞
 - ・ 中学ソフト四国優勝、全国三位
 - ・ 全国中学囲碁大会で中三が四位
 - ・ ニュージランド研修に二〇名
 - ・ ガーナ生徒と東京・高知で交流
- 生徒たちの積極的な活動・活躍を嬉しく頼もしく思っています。

☆創立百周年記念事業本格化

①百年史は着々と進んでいます

宮崎大学の湯田准教授を中心とする執筆グループによる本文は、本校の歴史にとどまらず、高知県で私学の隆盛を導いた過程など、近代の高知県の教育史全般を記述する本格的な学術著作として進捗しつつあります。一方で、本校教職員による資料編、回顧展望編も学校に残されているさまざまな記録を整理し、百年の節目にふさわしい集大成として、形を整えつつあります。二〇二〇年の年明け早々には原稿をとりまとめ、十一月十八日の創立記念日に発行できるよう、準備を進めていきます。なお、紙媒体での発行部数はかなり限定された数になりますので、DVDなどの電子媒体での発行も

検討しています。

②記念の催しの企画も徐々に

創立記念日の前日に記念コンサート&リレートーク、当日には記念式典・講演会と祝賀会を開催します。記念コンサートではフルオーケストラ版が完成した百周年記念歌を披露します。リレートークには各界で活躍中の若手卒業生、記念講演は元厚生労働事務次官の村木厚子さん(四十九回生)にお願いしています。また、いくつかの運動部が記念の招待試合を計画しています。さらに、創立記念日の直前、十一月十日から十五日まで、高知市文化プラザかるぼーとの七階市民ギャラリーの五つの展示室を借り切って、記念展覧会(仮称)を開催します。学校の歩みを物語るさまざまな資料を展示するとともに、文化部の生徒の作品展示を合体させて、本校の過去と現在を広く市民の方に見ていただくという企画です。

③オリジナルグッズも形になって

六月にやぐらグラフィティの改訂版が完成。昇降口に昨年の九十四回生までのやぐらの写真が並びました。さらに、五十二回生の安田雅彦さんにお骨折りいただいたオリジナル年賀葉書のデザインも完成。この「向陽」がお手元につく頃には、頒布を始めています。皆さまにお使いいただければ幸いです。その他、記念式典などでお配りする記念品と

して、本校卒業生が経営する蔵元の日本酒など、従来の記念品のイメージを覆すような企画も考えています。

すべてを通じて、在校生、保護者、そして卒業生の皆さまとともに、百年にふさわしい有意義な、しかも笑顔で盛り上げられるような催しにしていきたく思っています。どうか、ご支援ご協力をよろしくお願い致します。



創立百周年
オリジナル年賀葉書
【お申込は学校HPから】

☆卒業生、ちよつといい話

九月八日(日)、オーテピア高知図書館で、三省堂の大辞林第四版発行記念講演会が行われました。その講師を務めたのが、この大辞林の編集長で三省堂辞書部長の山本康一さん。本校の六十回生でコース別研修でも何度もお世話になって来た方ですので、そのお礼の意味もあって講演会に参加させていただきました。予定した参加数を上回り、椅子を補充した窮屈な会場でしたが、映画「船を編む」の監修をした際の裏話や、ゲラ刷りのゲラは古代ローマのガレー船からきているなど、興味深い話に聞き入りました。その中で、もっとも驚いたのは、この第四版の大辞林は第三版より二百頁以上増えているのに、厚さは逆に薄くなっているということ、そしてそれを可能にした薄い紙の開発をした日本製紙パピリアの

社長さんが本校の卒業生だという話でした。後で確かめてみると、この社長さんは五十回生の三宅純生さんであるとわかりました。今年の出版界の大きなトピックであるこの大辞林の出版に、本校卒業生がふたりも関わっていることにたいへん誇らしい思いを抱いたことでした。

卒業生の活躍は、後輩である生徒たちはもちろん、その保護者、そして私たち教職員にとって大きな励みになっております。今後とも、皆さまのご活躍と母校へのご支援ご協力を心からお願い申し上げます。(令和元年九月二十二日記)

森田幸雄先生、安らかに…

令和元年7月10日、平成34年4月から14年3月まで学校長を務められた第六代校長の森田先生がお亡くなりになりました。森田先生の時代に土佐校は創立80周年を迎え、100年委員会や教員研修(TSL)委員会などが発足し、それは今もなお現場で活きております。森田先生の多大な功績を讃え、謹んでご冥福をお祈りいたします。 合掌



●合格の状況●

Table with 5 columns: 国立大学, 現, 過, 計, 進学. Lists various national universities and their statistics.

Table with 5 columns: 私立大学, 現, 過, 計, 進学. Lists various private universities and their statistics.

Table with 5 columns: 私立大学, 現, 過, 計, 進学. Lists various private universities and their statistics.

Table with 5 columns: 私立大学, 現, 過, 計, 進学. Lists various private universities and their statistics.

Table with 5 columns: 公立大学, 現, 過, 計, 進学. Lists various public universities and their statistics.

Table with 5 columns: 準大学・海外大・その他, 現, 過, 計, 進学. Lists various other institutions and their statistics.

2019年度大学入試総括



2019年度結果
平成最後の卒業生である94回生のセンター試験は、平成31年1月19日(土、20日)インフルエンザの猛威の中での実施となりました。

2020年度入試は新入試の関係で全国的に安全志向が高まると思われ、新入試は現行入試と比べ内容的に大きく変わるわけではありません。

◆今後に向けて◆
現高3(95回生)が受験する令和最初のセンター試験は、最後のセンター試験となります。

◆難関国立大(旧7帝大・神戸・一橋・東工)◆
44名(現役27名・既卒17名) 昨年46名(現役26名・既卒20名)

ありました。それは、昨年93回生の実施日1/13、6月1日現在で最も早い日程であったのに対し、94回生は最も遅い日程であったこと、センター後の2次試験までの期間が短いことから、現役生にとって厳しい入試になるのではと心配していましたが、この心配は杞憂に終わりました。

中学ソフトボール部 「素人集団」が全国3位に！

中学ソフトボール部顧問

小松 亮太 (83回生)

この夏、中学ソフトボール部は県総体を58年ぶりに制し、四国総体も初優勝。和歌山県で開催された全国大会では、準決勝で優勝した新見第一中学校(岡山県)に敗れましたが、3位入賞となりました。

OBや関係者をはじめ、多くの方々にご支援いただきましたことを、厚く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

「本気で頑張ったなら、優勝を狙えるチームになると思うよ。」2年前、私は現3年生たちにそう言いました。しかし、経験者は少年野球をしていた主将一人だけ…。最初の頃は、試合をしてもコールド負けの連続でした。それでも、「応援されるチーム」を目標に、自分たちの可能性を信じ、毎日の練習に一生懸命取り組み、昨年10月の県新人大会で



初優勝するまでにチームは成長しました。小さな努力を積み重ね続けた生徒たちは、本当にすばらしかったと思います。

自分たちの頑張りだけではありません。保護者には、毎週のように練習試合の送り・サポートをしていただきました。学校やカテゴリーをこえて、多くの指導者にアドバイスをいただきました。

先生方には、生徒たちの成長を温かく見守っていただきました。今回の成果が、お世話になった方々への一つの恩返しになればと考えています。

8名の3年生たちは、高校でも競技を続けると言ってくれています。文武両道をモットーに勉学に励みながら、高校ソフト部にとって悲願の全国大会出場の夢を、彼らが叶えてくれるであろうと確信しています。また、彼らの背中を見て育つ、後輩たちのこれからの成長が楽しみです。今後とも応援よろしく
お願い致します。

土佐軽音・ド根性ガール with B 全国大会優勝

軽音楽部顧問

矢野 淳彦

2018年11月24日「第8回とよさと軽音楽甲子園」で、軽音楽部の2年生5人組「ド根性ガール with B」は文部科学大臣賞を受賞した。

その夏、ド根性は、誰もが確実視していた「軽音楽」の最優秀賞を逃していた。そのショックから立ち直りかけた彼らに追い打ちをかけたのは、台風による「Thee Rock in HITCHINAKA」中止の知らせだった。高校軽音部員の誰もが夢見る最高の舞台が吹き飛ばされたのである。

進路室に集まったメンバーの長い沈黙を破った言葉は、「それなら、自分たちでフェスを作ろう」だった。すぐに準備に取りかかり、賛同してくれる20バンドが集まった。途中で会場が変更になるなど、道のりは平たんではなかったが、11月11日、会場に入った私は驚いた。発泡スチロールに電飾を貼り付けた



「あいわんと」、そして「ファンキーババアになんたくて」。タイトルを聞いてムツとした人も、曲を聞くと笑顔になるド根性の代表曲だ。会心の演奏だった。それにしても、表彰式で最後に名前を呼ばれるまでの時間があんなに長く苦しいものとは思わなかった。私事だが、ド根性の5人から「ファンキージジイ」に認定され、老後の元気をいただいている。

「根性ロック」の文字が、ベイファイブスクエアの大きなステージに燦然と輝いていたのである。聞くと、すでに大学進学を決めていた94回生の先輩が設計し、みんなで作ったということだ。これを見て、フェスの成功は間違いないと、心が大きくなった。

その2週間後、ド根性は「けいおんの聖地」のステージに立っていた。彼らが出場権を獲得したもうひとつの大きな全国大会である。苦境を乗り越えたド根性は、オリジナル2曲をこの大会にぶつけた。シャッフルビートで会場を揺さぶる

頑張る現役生のクラブ活動状況は、土佐中・高等学校HP クラブ・生徒会↓
特活通信「右文尚武の軌跡(三木)宏特活部長・65回生」で詳しく掲載しています。

北海道支部

事務局長 山本隆昭(53回生)

事務局の山本です。

昨年の北海道胆振東部地震から1年が過ぎました。震源近くの厚真町では大規模な地滑りがたくさん起き、多数の道が埋まったり、崩れたりして至る所で通行止めとなっていました。最近、厚真町に行きましたが大型ダンプが行き交い、いろいろなところで工事が行われていますが未だに復興半ばといったところで、住宅地のすぐ裏手で工事が行われているようなところもありました。街中や幹線道路では整備が進んでいますが、山中の崖崩れについてはほとんど手をつけられておらず、今後さらに崩れたりしないか心配な状況です。

それでは北海道支部の活動についてお知らせいたします。北海道支部の主な活動は、例年秋に開催している支部総会です。2018年度は9月15日にロイトン札幌で開催しましたが、地震直後と



2018年度北海道支部総会にて

いうことで一時は開催が危ぶまれました。来賓として、学校より小村校長先生、同窓会本部より矢野副幹事長、入野副幹事長、関東支部より佐々木泰子顧問、濱田副幹事長、東海支部より前田支部長にご出席いただきました。矢野副幹事長の奥様と北海道支部からの6名と合わせて13名での開催となりました。今回は特に協議する議題もなく、すぐに楽しい懇親会となりました。

最後になりますが、今後も北海道支部を宜しくお願い致します。また、転勤、進学などで北海道にいらっしゃる方がおりましたら、是非北海道支部まで連絡を下さい。本部を通してでもかまいませんので宜しくお願い致します。

関東支部

学年幹事 島村 昭範(49回生)

こんにちは、関東支部49回生学年幹事の島村昭範です。関東支部では6月1日に総会・懇親会が開催されました。本年度の総会・懇親会の企画・進行は、39回生の吉村尚徳名誉代表幹事と59回生の森木隆裕代表幹事を筆頭として、9の会が担当いたしました。

9の会では、59回生が全体を総括・支援し、79回生が懇親会を担当し、我々49回生は、二宮潔関東支部事務局長を中心として、総会と記念対談を担当し

ました。

同期で関東在住の傍士銃太理事長も含めて検討を開始して、49回生の小串代さんと村木厚子さんに対談をお願いすることになりました。両対談者にも出席していただき記念対談の内容や形式について議論を重ねた結果、本番の記念対談では好評を博することができました。

総会当日には母校からの小村彰校長先生をはじめ、山口県宇部市からは「ひざ裏のばし」体操の川村明さんが駆け付けるなど、全国から25名の49回生が集結しました。9の会で49回生が活躍するのもこれが最後と思いますので、次回からは59回生以降の若手の皆さまがますます盛り上げてくださると思います。

蛇足となりますが、私個人は8月17日のホームカミングデーにも9の会メンバーとして、朝の準備から参加させていただきました。こちらでも「大人の発達障害」講演の宮岡等さんをはじめ、9の会の橋本雅彦実行委員長と谷晃実行副委員長以下、50名以上の49回生が集まりました。



関東支部総会に集結した49回生の一部

東海支部

幹事 戸田 祐嗣(66回生)

同窓生の皆さん、こんにちは。東海支部幹事の戸田です。

東海支部では5月11日に支部総会を開催し、40回生の松岡啓介さん(九州大学極限プラズマ研究センター)にご講演をいただき、本部、各支部からご来賓とともに気の置けない同窓の間で楽しい歓談の時を過ごしました。11月17日には恒例の冬期懇親会を予定しております。また、東海地区の大学に在学中の同窓生に声をかけ、若手中心の飲み会も開催するなど、シニア、若手一丸となって支部を盛り上げていこうと頑張っています！

さて、名古屋と言えば、リニア新幹線の建設、新東名、新名阪の建設・延伸など今も交通に関するビッグプロジェクトが動いている地域ですが、昔から東海道、中山道の結節点として日本の交通のかなめでした。最近の私のちょっととした東海地区の楽しみ方として、出張ついでや、夫婦



2019年度東海支部総会にて

で週末に出かける時などに、東海道や中山道の宿場町を訪れることにはまっています。歌川広重の浮世絵に描かれた風景が今もそのまま残っている宿場町も多く、参勤交代の大名行列の方たちも食べたであろう地元料理を味わいながら、200年ほど前の日本の雰囲気やタイムトリップするのもなかなかいい時間です。名古屋城、伊勢神宮、長良川の鵜飼いなど有名な観光名所も、もちろんお勧めではありますが、少しお時間に余裕をもって東海に訪れる機会を作っていたら、のんびりとした街道巡りを楽しんではいかがでしょうか！旅の拠点・名古屋で東海支部同窓生一同、皆さんのお越しをお待ちしております！

関西支部

船木みあさ(65回生)

令和という時代が幕を開け、来年は東京2020オリンピック・パラリンピックが開催される。

それもこれも、全て、土佐中学・高等学校創立百周年を祝う行事の一環として準備されているようで、面白い。

——土佐は時流に乗っている——
そんなことさえ、思ってしまう。

小6の夏、受験しようと、学校を見に行った。正門に「私立土佐中学校」。

——わたくしりつ？私達でつくる学校という意味？——

「私立」という言葉に誇りを感じた。

入学後、自律、礼節、文武両道という言葉をよく耳にした。ことあるごとにタイミンク良く「協力一致誓ひして」、「冠する土佐の名に叶へ」と、校歌が引用され、さり気なく学校からのメッセージが届けられた。

今、振り返ると、生徒にプレッシャーをかけない配慮をし、黙々と現在より一足先の教育環境を整え、生徒一人一人の主体性を重んじて、自ら立つのを見守ってくれる学校だと思ふ。

土佐という学校には多様な思いがぶつけられる。それを成長の糧とし、歩を進め続け、気が付くと、百年の歴史を持つ学校になっていったということだろう。これからも、さらなる発展を願う。私達でつくる学校だから。

関西支部では、令和2年2月22日(土)、KKR

ホテル大阪(JR森ノ宮駅より徒歩10分)で令和2

年度の総会を開催することに。皆さん、

大阪城を見ながら是非、お

話しましょう。



2019年度関西支部総会の様子

広島支部

野村義人(56回生)

皆様こんにちは。広島在住で元マツダ社員の野村義人(56回生)です。

マツダは広島の本拠地ですが、25年余り海外6カ国に赴任しておりましたので、広島での生活はまだ3年余りです。

現在、広島支部で支部便りを担当しておりますが、土佐校時代は国語が赤字続きで、故小島先生には大変ご迷惑をかけました。作文も大の苦手で、土佐校を卒業できたのは小島先生のおかげであります。こんな私が支部便りを担当しておりますが、これからは宜しくお願ひします。

昨年、広島は、未曾有の豪雨災害に見舞われ、百数十名の尊い命が奪われました。私が住んでいる安芸郡坂町でも、十数名が亡くなり、数百戸の家が全半壊しました。幸い、私の家は難を逃れました。また、広島支部の皆さんも被害にあったとの連絡はありませんでした。

災害直後は、私の息子も被害の大きかった坂町小屋浦地区へボランティアで土砂撤去作業にかり出されました。その後、あのスーパージョントピアの尾島さんも来てくれましたし、天皇陛下、嵐のメンバーや俳優の斎藤工さんなど有名人もぞくぞく来て下さり、現

地の人を激励してくれて、

復旧も着実に進みました。

ですが、

豪雨からもう1年が過ぎた



今でも更地に廃墟化した家が残る小屋浦地区

今も、広島駅から北に延びる芸備線も未だに全線復旧していません。坂町内にも仮設住宅が建設され、家を失った方が多数暮らしていますが、まだ、半数近くの方が、今後の住居が決まっておらず、不安の中生活しております。まだまだ災害の傷跡は残っております。

広島県内ではとところ復興途中ではありますが、広島市内や宮島など観光地は、被害はほとんどなかったのが安心してお越しくださいませ。

同窓生の皆さまこんにちは。香川支部の安岡和浩と申します。

香川支部

事務局 安岡和浩(75回生)

ここ香川支部では七夕総会と称して、織姫と彦星の再会を願うがごとく、年に一度の同窓生の再会を願って、毎年7月第一週の土曜日に支部総会を開催

同窓生の皆さまこんにちは。香川支部の安岡和浩と申します。

していません。昨年はなんとタイミングの悪いことに西日本豪雨に見舞われる中での開催だったため、今年こそは！と「無事に総会が開催できますように」と短冊に祈りを込めた結果、当日、7月6日(土)は梅雨時期では稀にみる快晴のもと第24回香川支部総会を開催できました！高松駅前のシンボルタワーにて夕日に照らされた瀬戸内の島々を見下ろしながら、ご来賓9名、香川支部35名の計44名にお集まりいただき、総会の議事はそこそこに、あつという間に懇親会へ突入！高知の地酒を片手に近況報告や学生時代の思い出話に花を咲かせていると、あつという間に2時間半の宴はクライマックスへ。最後は香川支部の応援団長・山下雅生先輩(50回生)の指揮により、出席者全員で円陣を組んでの校歌斉唱。大盛り上がりでの支部総会に、改めて土佐OBで良かったなあと感じる一日でした。

さて、私は香川・高松に来て早や10数年になりますが、その間に香川も変わったなあと実感すること一つあげるとすれば、それは外国人観光客の数。毎朝の高松駅から会社までの歩いて5分程度の距離でも、だいたい数人の外国人とすれ違います。それもそのはず、香川県はここ6年間で外国人入込客数が4万人から55万人へと14倍も伸びているんです！(我が高知県は3万人から8万人へ。伸びシロは大きいぞ、頑張れ!)何がそんなに魅力なんだろう??と首をかしげていると、追い打ちをかけるように、ニューヨーク・タイムズが読者に進める旅行先「2019年に行くべき52カ所」で瀬戸内の島々が7位!世界シェア1位の旅行ガイドブックでのアジア太平洋地域で訪れるべき目的地トップ10(2019)で、なんと四国が2位!!(ともに日本では唯一のランクイン)頭の中は?だらけ、まさに狐につままれたような思いですが、香川に関して言えば、瀬戸内の多島美、国際芸術祭や小型豪華客船「ガソツウ」が評価されているのだとか。四国で生まれ育った我々はその価値を見逃してしまいがちですが、実はすごいポテンシャルを秘めているのかもしれない。

インフラ面では四国新幹線導入に向けた機運も徐々に盛り上がりつつあり、完成の暁には観光立国・四国も夢じゃない?と思いつつ、新幹線の完成を待っていると10年も20年もかかってしまいうそなので、まずは香川支部総会への出席のついでに、瀬戸内の島巡り、財布に余裕のある先輩



「校歌斉唱」
(写真中央: 山下雅生(50回生)、左下: 筆者)

方は「ガソツウ」で豪華に瀬戸内クルーズしてみませんか?(値段は最低でもウン十万円とか...) 徳島といえば阿波おどり。昨年は全国ニュースにも取り上げられる騒ぎになりましたが、今夏は運営母体が替わって「総おどり」が復活し、迫力のある乱舞を見ることができました。よさこい祭りの魅力を忘れたわけではありませんが、徳島在住28年。年に一度届く「向陽」が土佐校で過ごした時間を思い出す数少ない機会でした。しかし3年前に徳島支部が出来てからは母校が身近な存在に。在校時も卒業後も土佐校のお役に立つようなことは何一つできていない罪滅ぼしも兼ねて、今号の近況報告の任に当たります。

まだ暑さの残る9月14日、武市教頭先生、岡内同窓会長、千頭様、森本先生、そして関東・東海・広島・香川各支部から総勢5名の御来徳をいただき、徳島支部第3回総会が開催されました。武市教頭先生からは現役生の文武にわたるご活躍や来年の百周年記念事業などのご報告をお聞きし土佐校が重ねてきた歴史と未来に思いを馳せ、各支部の皆様からの活動報告では卒業生の繋



2019年度徳島支部総会にて

徳島支部

山口 美砂(59回生)

がりの強さと溢れるバイタリテイを感じました。引き続き行われた懇親会では、吉岡一夫支部長(50回生)自ら「安芸虎」を振る舞いあちらこちらで談笑の輪が。同窓ならではの一体感や懐かしさ・楽しさいっぱいなの、吉岡支部長の目指すまさに「サロン」のような楽しい時間を過ごしました。菊池義倫事務局長(52回生)の応援リードで校歌斉唱、植田滋顧問(52回生)の一本締めで中締めとなりました。

その後、岡内同窓会長から寄贈いただいた支部旗をバックに集合写真を撮るパチリ。来年もこの支部旗の下で、ともに徳島で過ごす先輩・後輩の皆様や、懐かしい先生方・全国各地でご活躍する同窓生にお会いできる「サロン」を楽しみにしています。

池上先生 ありがとうございます

校長 小村 彰 (49回生)

「いらっしやいませ」。学校説明会にやってきた小学生、保護者に頭を下げながら、大きな声で挨拶する校長。教員の常識ではおよそ考えられないその姿に、広報担当としての自分の至らなさを痛感させられました。思うようにかみ合っていないかった歯車が、すこしずつ回り始めたのは、そうした新校長の姿勢がきっかけだったように思えてなりません。池上武雄先生(28回生)が校長に



入学式で新中1生とともに

就任されたのは、2002(平成14)年4月。その年から、百年委員会の提案に基づくさまざまな学校改革をリードし、理事会内部での対立を乗り越えて新校舎建設を断行。未履修問題や落雷訴訟で批判の矢面にさらされながら、おだやかで誠実な人柄で学校の苦境を乗り越えました。自分と対立する意見に対しても

真摯に耳を傾け、取り入れるべきは取り入れつつ、着地点を見い出していく先生の姿勢がそれを可能にしました。誰に対しても常に腰を低くして対応しつつ、自分の懐に取り込んでいく柔らかさ・しなやかさ、その一方で、憎まれ役をかってでも、通すべき筋は通すという厳しさも併せ持っておられました。その厳しさは自分自身にも向けられ、辞表を提出されたこともありましたが、

在任中6回にわたって自らに減給処分を科しています。こうした先生の人柄、手腕、度量が、低迷を打ち破って、本校の再生につながったと私は確信しています。

校長・理事長としての16年余のご活躍を記すには、一冊の大著が必要かと思ひ



池上校長運動会にて 2010.9

2020年 来年5月予定 会員名簿調査のご案内

来年は創立100周年を迎えるわが母校。

記念事業の一環として、恒例の同窓会会員名簿を来年11月に発行する予定です。より精度の高い名簿を会員の皆様にお届けするために、名簿調査にご協力を宜しくお願い致します。

名簿調査は往復はがきで行ないます。記載事項に変更ない方も必ずご返信ください。

返信ない方には、電話で確認する場合がありますのでご了承ください。

創立100周年記念名簿作成委員会



池上理事長最後の卒業式 2018.1

ます。ご自身の手によって、いつの日か、それがなされることを祈念しつつ、理事長退任に当たったの感謝の言葉といたします。

母校/同窓会本部/各支部

- 土佐中学・高等学校 事務 千頭裕 〒780-8014 高知市塩屋崎町1-1-10 (TEL) 088-833-4394 (FAX) 088-833-7373 (E-mail) tosa@tosa.ed.jp (HP) http://www.tosa.ed.jp/index.html
- 土佐中学・高等学校同窓会本部 会計幹事 千頭裕 〒780-8014 高知市塩屋崎町1-1-10 (TEL) 088-833-4394 (FAX) 088-833-7373 (E-mail) tosa@tosa.ed.jp (HP) http://www.tosaobog.com/
- 同窓会北海道支部 事務局長 山本隆昭 〒001-0018 札幌市北区北18条西6丁目 ARTE 88-305 (TEL) 011-756-2817 (FAX) 011-756-2817 (E-mail) yamat@den.hokudai.ac.jp
- 同窓会関東支部 事務局長 二宮潔 〒100-8222 東京都千代田区丸の内2-6-1 丸の内パークビルディング森・濱田松本法律事務所 弁護士市川直介 気付 (TEL) 03-5223-7719 (FAX) 03-5223-7619 (E-mail) naosuke.ichikawa@mhmjapan.com (HP) http://www.tosako-kanto.org/ (E-mail) ninomiya.kiyoshi@chiyodacorp.com/ninomiya@iris.ocn.ne.jp
- 同窓会東海支部 事務局長 瀬沼憲司 〒455-0064 名古屋港区本宮町6-7-5 フォレスト本宮201 (TEL) 052-837-5834 (FAX) ナシ (E-mail) knzss@kza.biglobe.ne.jp (HP) http://tosakotokai.web.infoseek.co.jp/
- 同窓会関西支部 事務局長 藤原由親 〒541-0046 大阪市中央区平野町1丁目7番1号 堺筋高橋ビル6F 税理士法人アクセス 気付 (TEL) 080-9166-2400 (FAX) 06-6110-5419 (E-mail) y-fujiwara@act-cess.jp
- 同窓会広島支部 事務局長 大谷準一 〒734-0007 広島県広島市南区皆実町6-3-26-902 (TEL) 082-253-5759 (FAX) 082-254-7523 (E-mail) spat56z9@vesta.ocn.ne.jp (HP) http://www.geocities.jp/hiroshimashibu/
- 同窓会香川支部 事務局長 野村喜久 (担当=福原俊介) 〒760-8573 高松市丸の内2番5号 四国電力(株) (TEL) 090-7780-3722 (FAX) ナシ (E-mail) fukuhara14443@yonden.co.jp
- 同窓会徳島支部 事務局長 菊池 義倫 (担当=岡林将史) 〒770-0841 徳島市八百屋町3丁目10-2 四国銀行徳島営業部 (TEL) 088-622-4141 (FAX) 088-623-6676 (E-mail) starevue0814@icloud.com